

鎌倉市鏑木清方記念美術館 令和4年度（2022年度）第1四半期実績評価

1 美術館の利用の承認等に関する業務

● 来館者数の動向

- ・第1四半期の来館者数は5,941人で、昨年同期間の2,650人に比べて、3,291人・約124.2%分増加した。
- ・今年度も昨年度同様、前指定管理期間の同四半期来館者数平均値(7,532人)と比較するとやや伸び悩んでいる。しかし、前指定管理期間の年間来館者数の平均値(24,020人)と比べると、ほぼ4分の1の人数は集客している。これらのことから新型コロナウイルス感染者数が増加している中で、この人数を集客できたことは、徐々にであるが、回復傾向に転じていると言える。

・第1四半期の月別の観覧者数は、4月1日から10日まで実施した企画展「春、うらら。～清方の風景とスケッチ～」が669人、4月14日から5月18日まで実施した特別展「美しきおもかげ物語の女性たち」が2,386人、5月21日から6月26日まで実施した特別展「日本画の美ー清方とゆかりの画家たちー」が2,886人となり、2つの特別展はどちらも2,000人を超える結果となった。

2 美術館の施設及び設備の維持管理並びに運営に関する業務

● 施設・設備の維持管理

- ・設備機器点検を行い、設備の管理を的確に実施した。
- ・季節に応じた庭園の管理を行った。

● 施設の運営

- ・展覧会ごとに、チラシやポスター等を作成し、周知に努めた。
- ・窓口における受付、施設案内等を適切に行った。
- ・ツイッター等のSNSを活用し、美術館の宣伝強化に努めた。

3 美術館の事業の企画及び実施に関する業務

● 展示・その他事業

- ・4月1日から4月10日まで企画展、4月14日から5月18日までと、5月21日から6月26日まで2回特別展を実施した。

* 展示替 4月は58点、5月は63点、6月は66点の展示替をそれぞれ行った。

- ・新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、展示解説は実施しなかったが、これに代わる解説動画をYoutube上で公開した。(再生回数は237回)

- ・第1四半期は普及事業として、「春休み親子鑑賞」と子ども参加プログラム「浮世絵の多色摺り技法を体験してみよう！」及び「市民講座」を実施した。その他「日本画ワークショップ」や「美術講演会」も実施した。

● その他必要な業務

- ・新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、入館者の検温や、館内の換気・清掃等を行った。
- ・鏑木美術品の調査研究を行った。
- ・ホームページの収蔵品データベースに検索窓を設置し、利用者の利便性向上を図った。

4 鏑木美術品等の収集、修復、調査研究等に関する業務

● 収集・保管

- ・作品等の保管や展示の状況確認を5月17日及び6月22日に行い、結果は良好であった。

● 調査・研究

4月

- ・清方の南画研究の調査
- ・個人蔵の清方作品の実見調査
- ・清方の日記の調査
- ・借用作品に関する調査

5月

- ・清方意匠の浴衣地に関する調査
- ・石版画の技法に関する調査
- ・明治～大正期の少年少女向け雑誌についての調査
- ・美術品の修理に関する調査
- ・柴田是真の落款についての調査
- ・清方の南画に関する蔵書の調査
- ・小早川清作品の調査
- ・少女界の調査

6月

- ・清方意匠の浴衣地の柄についての調査
- ・清方のスケッチに描かれた植物についての調査
- ・他館における子ども向け解説書の体裁と用途についての調査
- ・『少女界』についての調査
- ・日本絵画協会、日本青年絵画協会の出品作の調査
- ・清方作品、柴田是真、小早川清作品の実見調査
- ・『少年界』『少年世界』の調査
- ・清方の日記の調査
- ・子どもを描いた作品・資料の調査

5 その他市長が定める業務等

● 事務処理

- ・例月の指定管理業務報告書等は期日までに提出されているが、その後内容の修正及び資料の差し替えがあった。(4月分：5月13日、5月分：6月6日、6月分：7月12日提出)
- ・休館情報や展示替えに伴うホームページの情報更新が適切に行われていた。
- ・市広報に展覧会の情報を掲載し、市民への周知を行った。
- ・モニター広告を利用し、市役所本庁舎への来庁者に展覧会内容を周知した。

● 事故・苦情対応

特になし。

● その他

特になし。

6 全体評価

- ・第1四半期の来館者数は5,941人で、昨年同期間の2,650人に比べて、3,291人・約124.2%分増加した。
- ・今年度も昨年度同様、前指定管理期間の同四半期来館者数平均値(7,532人)と比較するとやや伸び悩んでいるが、前指定管理期間の年間来館者数の平均値(24,020人)と比べると、ほぼ4分の1の人数は集客出来ている。これらのことから新型コロナウイルス感染者数が増加している中で、この人数を集客できたことは、徐々に回復傾向に転じていると言える。引き続き、魅力ある展示を行い集客に繋げて欲しい。

- ・来館者増加の要因として3～5月に東京国立近代美術館で、5～7月に京都国立近代美術館で開催された「没後50年 鏑木清方展」がテレビや雑誌を中心に各媒体で特集されたことが考えられ、鏑木清方記念美術館も取材協力や関連資料の展示などに力を入れ、展示と広報の両面で清方の周知と来館者促進に努めている。今後もより一層若い世代やリピーターの獲得に向けた効果的な情報発信について、引き続き検討を続けてもらいたい。

- ・新型コロナウイルス感染症対策を講じながら春休みの子どもや保護者を対象にしたイベントやワークショップなどを実施し、参加者から好評を得ている。
- ・寄贈を受けた作品・資料の調査・研究を引き続き計画的に進めるとともに、その成果を活かし展示等事業内容の充実を図るよう積極的に取り組まれない。

- ・施設の維持管理業務に関しては、日常点検を始め、各種定期点検を計画的に実施している。市への報告も徹底されており、適切な対応が取れている。

- ・美術館からの提出書類について、提出後の内容修正や資料の差し替えが複数発生している。また第1四半期の報告書については、提出期限も超過している。今後報告書等の提出については、提出前の確認をより丁寧に行い、間違いをなくすよう対応して頂きたい。

鎌倉市鍋木清方記念美術館 令和4年度第1四半期判定評価

評価項目	判定点	第1四半期 評価結果	減点
1 利用の承認等に関する業務			
来館者数の動向			
入館者数が前指定期間の同四半期の平均値と比較して80%以上の水準にあるか(不可抗力を原因とするものを除く)	5	○	
特別利用			
作品に悪影響が出ないような適正な承認を行っているか	10	○	
2 美術館の施設及び設備の維持管理並びに運営に関する業務			
施設・設備の維持管理			
定められた点検が実施されているか	5	○	
不具合箇所を放置せず、必要に応じて修繕を実施しているか	5	○	
庭園、進入路などの手入れはきちんとされているか	5	○	
施設の運営			
館及び展覧会の周知が積極的に図られているか	5	○	
3 美術館の事業の企画及び実施に関する業務			
展示			
計画どおりに展覧会が開催されているか	10	○	
その他必要な業務			
展示以外の自主事業は適正に実施されているか	5	○	
来館者ニーズの把握・反映につとめているか	5	○	
4 鍋木美術品等の収集、修復、調査研究等に関する業務			
美術品等の維持管理			
美術品の所在は確認されているか	3	○	
温湿度管理など、美術品が適切に取り扱われているか	5	○	
調査・研究			
計画どおり調査・研究が進められているか	5	○	
出版物の管理・保管は適切に行われているか	3	○	
5 その他市長が定める業務等			
事務処理			
決められた期日までに報告書は提出されているか	5	×	5
市との連絡調整はきちんとされているか	5	○	
市と協議を行った事項は確実に実施されているか	5	○	
固有の銀行口座で適正な会計処理を行っているか	10	○	
苦情対応			
来館者や近隣との間のトラブルに適正な対処をしているか	5	○	
苦情・要望への迅速な処理、市への報告はされているか	5	○	
その他			
研修等自己啓発の努力がされているか	3	○	
災害時の対応ができるよう、準備はされているか	3	○	
個人情報適切に管理されているか	10	○	
減点の計			5
総 計	117		

実施されている場合・○ 実施されていない場合・×

特記事項
第1四半期報告書について、提出期限を超過したため、減点とします。(8月23日提出)

減額率

減点の合計	減額率
10～15	5%
16～20	10%
21～	20%